

第 36 回日本医療情報学会中国・四国支部セミナー ・ 四国医療情報技師会第 16 回勉強会

開催概要

1. テーマ: ePath の理解を深める

「クリニカルパス標準データモデルの開発および利活用 (ePath プロジェクト)」が AMED 事業として 2018-20 年度に実施されました。ePath ではベンダー間で相互運用性のある Outcome-Assessment-Task の三層モデルを中心概念としたシステムが開発され、その後 Learning Health System の推進や治験への応用、Personal Health Record との連携を行うなど、事業はますます進展しています。そこで本企画が、ePath の現状及び発展性に関して最新情報を取得できる機会となることを祈念します。

2. 開催日時: 2025 年 9 月 27 日 (土) 13 時 30 分～17 時 (受付 13 時～)

3. 会場: 徳島大学 藤井節郎記念医科学センター2F 多目的室

4. プログラム (進行) 徳島大学 田木 真和
徳島大学 廣瀬 隼

13:30 - 13:35 開会挨拶

講演 1

13:35 - 14:35 標準化クリニカルパスシステム ePath の概要とその活用、効果について
徳島大学病院 病院情報センター 部長 若田 好史

14:35 - 14:45 休憩

講演 2

14:45 - 15:45 ePath を基盤とする治験効率化の仕組み:eWorkSheet
九州大学病院 ARO 次世代医療センター 副センター長 船越 公太

15:45 - 15:55 休憩

講演 3

15:55 - 16:55 ePath を活用した個別化ヘルスケアプロセス管理アプリの開発研究
九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター 准教授 山下 貴範

16:55 - 17:00 閉会挨拶 徳島大学 廣瀬 隼